

## 手足口病に注意してください！

☆全国的に乳幼児の**手足口病**が急増しています！！ ☆

北部保健所管内でも手足口病が急増しており、特に1歳から3歳の発症者が増加しています。

全国的にこの時期としては**過去11年間で最多**になっていることが国立感染症研究所から報告されています。原因となる「エンテロウイルス」にはいろいろなタイプがありますが報告されているのは、髄膜炎などの中枢神経系の合併症を引き起こす恐れがある「EV71」が半分以上を占めています。

同研究所は「通常とは違う頭痛や高熱などが起きた場合は、すぐに医療機関を受診してほしい」と呼びかけています。

### 手足口病

口腔粘膜および手や足などに現れる水疱性の発疹を主症状とした急性ウイルス感染症で、幼児を中心に夏季に流行が見られます。ヒト-ヒト伝播は主としてせき、くしゃみによる飛沫感染でおこりますが、便中に排せつされたウイルスによる経口感染、水疱内容物からの感染もあります。特別な治療を要しないことがほとんどです。予防としては患者に近づかない、手洗いの励行などです。

【感染経路】 飛沫感染(せき、くしゃみ)

接触感染(便や水疱から手を介して口に)

【潜伏期間】 3~7日

【好発年齢】 1~5才

【症状】 病名のとおり、手のひら、足の裏、口の中に米粒ほどの赤く盛り上がったブツブツ(水疱)ができる。熱が出ないこともある。

\* 患者と接した後や、おむつ交換後は石鹸と流水で念入りに手を洗いましょう。

